

漁港は魚の保育園



漁港漁場月報のバックナンバーは左のQRコードから読むことができます

漁港漁場月報

令和5年11月20日 発行
毎月 1回15日発行
公益社団法人 全国漁港漁場協会
発行人 高吉 晋吾
東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7
ワンピン神田ビル2階
電話 東京(6206)0066
ホームページ http://www.gyokou.or.jp/
定価 1部 70円 (会員の購読料は会費の中に含む)

夢と活力のある漁港漁村を次世代へ

第72回全国漁港漁場大会

東京で開催、全国から1300人参加

第72回全国漁港漁場大会(主催)全国漁港漁場協会、後援)東京都、東京都漁業協同組合連合会、東京都漁港漁場協会、協賛)全国漁港海岸防災協会)が10月18日に東京都千代田区の東京国際フォーラムで開催された。宮下一郎農林水産大臣や衆

参農林水産委員長、衛藤征士郎漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長、坂本雅信JF全漁連会長、枝元真徹大日本水産会会長のほか、多くの国会議員も駆け付け、全国から集結した関係者約1300人が来年度予算の確保に向けて一致団結した。



全国から多くの関係者が集まった会場の様子



挨拶する高吉会長

本大会は漁港・漁場・漁村の総合的整備を図るために全国の漁港漁場関係者が参集して開催されており、昭和24年の第1回開催以来、72回目を迎えた。漁港漁場整備長期計画を着実に実行するために、漁港・漁場・漁村・海岸整備の促進に係る関係諸施策の積極的な推進を図る必要がある。このため、全国の漁港・漁場関係者の総意をもって提言が採択され、その表現のため政府、国会等に対する要請活動を行うことが決議された。

宮下農水大臣ら来賓から祝辞
大会は午後1時に幕が上がり、初めに主催者を代表して高吉会長が全国漁港漁場協会会長が挨拶した。挨拶する高吉会長は、漁港・漁場・漁村の総合的整備を図るために全国の漁港漁場関係者が参集して開催されており、昭和24年の第1回開催以来、72回目を迎えた。漁港漁場整備長期計画を着実に実行するために、漁港・漁場・漁村・海岸整備の促進に係る関係諸施策の積極的な推進を図る必要がある。このため、全国の漁港・漁場関係者の総意をもって提言が採択され、その表現のため政府、国会等に対する要請活動を行うことが決議された。

挨拶した。続いて来賓として出席した宮下農水大臣、笹川博義衆議院農林水産委員長、山下雄弘参議院農林水産委員長、衛藤征士郎漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長、坂本雅信JF全漁連会長、枝元真徹大日本水産会会長が祝辞を述べた。

満場一致で議案を議決、提言を採択
議事では川添健児農林水産大臣が議長に選出され、議案を審議付議案として令和6年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件について、大山茂樹参議院農林水産委員長、宮下農水大臣が提案理由を説明した。続いて議案に関連した事例発表が行われ、○長崎県尾崎漁港(防波堤による港内静穏域確保とマクライ養殖の展開)(発表者:対馬市長 比田勝尚喜氏) ○島根県浜田漁港(浜田漁港における「海菜」

の取組み)水産物(フシ)の3例が報告された。この取組みをとり、全保の実現に努めることをド化と漁食普及活動(発表者:浜田市長 久保田 昌市氏) ○福井県高浜町(地域資源を活用した海辺のまちづくり)海菜(発表者:高浜町長 野瀬豊彦氏) 産業振興課 中村広花氏

この提言をとり、全国漁港漁場協会会長、各会場の賛同を得て決断され、議長は満場一致で議決し、議事を終了した。会場で恒例となっていた、参集した関係者による漁船海難遭難慰問委員会、各都道府県の地元選出国会議員等の幅広い関係者に働きかけ、提言で示された施策と必要予算の確保が行われた。

提言
我が国の水産業は、国民に安全・安心で良質な水産物を提供するとともに、健康的で豊かな日本の食文化を支え、地域経済の発展にも大きく寄与してきました。しかしながら、海水温の上昇等環境の変化、国内での水産物消費の減少、巨大地震・津波の切迫や台風・低気圧の激甚化、漁村の人口減少や高齢化の進展など厳しい状況にあります。加えて、ロシアのウクライナ侵攻等によるエネルギー、飼料等の価格高騰やALPS処理水の海洋放出に起因する風評被害等への対応にも迫られています。

一方、長かった新型コロナウイルス感染症への対応が緩和され、社会経済活動が活発になり、漁村のにぎわいも戻ってきました。インバウンドの観光客はもとより、世界の人々からは日本の水産物に対する高い評価が寄せられています。また、食料の安全保障における水産物の重要性があらためて認識されています。

このような状況に対応するため、輸出も視野に入れた品質衛生管理の向上や戦略的な養殖業の推進のための漁港機能の再編・強化、ブルーカーボンとして期待される藻場の保全・創造や魚種の変化に対応した漁場の整備による水産資源の回復を進めなければなりません。また、漁港漁村の防災・減災対策や施設の高齢化をさらに加速させるとともに、漁村が有する様々な地域資源と漁港という財産を活用して、所得と雇用を生み出す「海業」を推進し、漁村を持続的に発展させていくことが必要です。

私たちは、これからの取り組みを続け、水産業を魅力ある産業として、次世代に伝え、漁村を豊かで安心して暮らせる場とするため、努力してまいります。

このためには、漁港漁場整備長期計画等に位置付けられた漁港・漁場・漁村や海岸の整備が早急かつ着実に実施されることが必要であり、左記の事項の推進と令和6年度予算の確保を強く提言いたします。

記
一、漁港機能の再編・強化と養殖拠点の形成による水産業の成長産業化
一、海洋環境の変化に対応した漁場整備による生産力の回復
一、漁港・漁村・海岸の強靱化による安全・安心の確保と長寿化対策の推進
一、地域資源と漁港を活用した「海業」の推進による漁村の持続的な発展
令和五年十月十八日
第七十二回全国漁港漁場大会

主催 全国漁港漁場協会 会長 高吉 晋吾



本日は、第72回全国漁港漁場大会を開催いたしましたところ、全国から多くの関係者の皆様にご参加をいただき心から感謝申し上げます。

また、公務が多忙の中、宮下一郎農林水産大臣、森健水産庁長官をはじめ政府関係の皆様、笹川博義衆議院農林水産委員長、山下雄平参議院農林水産委員長、衛藤征士郎漁港漁場漁村整備...

備促進議員連盟会長をはじめ国会議員の皆様、坂本雅信全国漁業協同組合連合会会長、枝元真徹大日本水産協会会長をはじめ水産関係団体の皆様など、多くのご来賓のご臨席を賜り、盛大に開催できますことは、主催者として、まことに光栄に存じます。

さて、長かった新型コロナウイルス感染症への対応が緩和され、ようやく社会経済活動が以前のように活発に行われるようになり、飲食店での水産物の消費や漁村のにぎわいも戻ってきました。

ご承知の通り、水産業や漁村は、水産物の安定供給はもとより、海域環境の保全や水域の監視をはじめとする多面的な重要な機能を発揮してきました。昨今、国際的な緊張が高まる中、食料安全保障の観点から水産物の安定供給機能の強化が急務となっております。

一方、水産業や漁村を取り巻く環境は、地球規模での環境変化等による漁獲の減少、災害の激甚化、漁村の人口減少や高齢化といった難しい問題があります。私たちが、なんとしてこれらを克服し、水産業と漁村の持続的な発展を図っていかねばなりません。

水産業と漁村を支え、様々な課題に計画的かつきめ細かく対応できる水産業整備関連予算と漁港・漁村の大きな財産の存在は、この困難な状況を克服するための大きな力になります。

昨年策定された漁港漁場整備長期計画のもとで、輸出も視野に入れた漁港の高度衛生管理対策や養殖拠点の整備等による水産業の成長産業化、環境の変化に対応しつつ、ブルーカーボンとしても注目されている藻場・干潟をはじめとする漁場整備による生産力の回復、漁村で安心し暮らすための時代に必要なデジタル技術の水産業への活用や漁港漁村におけるカーボンニュートラルへの対応を進めることが必要です。

また、先の国会における漁港漁場整備法の改正により、法律の目的として、これまでの「整備」と「維持管理」に「活用促進」が加えられたことにより、漁港を活用して、地域の魅力ある資源を使った「海業」を展開する環境が整備されました。今後は私たちが各地域で海業について議論・検討し、地域に収入と雇用の場を作るために努力することが求められていると考えます。

本日は、お集りの皆様、事例の発表をお聞きいただき、来年度予算に向けての必要な施策について議論していただいたうえで、提言を取りまとめ、決議した事項の実現を広く政府、国会に要請することとしております。

水産業が成長産業として発展し、活気ある豊かな漁村が実現することを目指して、一層の団結のもと活動を続けることをお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

祝辞 農林水産大臣 宮下 一郎



本日に、「全国漁港漁場大会」が全国各地から1300名を超える皆様から御参集のもと、盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。本大会は、昭和24年の第...

1回大会以来、本年で72回を迎えます。この間、関係者の皆様におかれましては、漁港・漁場・漁村の整備促進に積極的に取り組んでくれたことに、深く敬意を表します。ALPS処理水の海洋放出に対する一部の国・地域による輸入禁止などの影響について、現場の漁業関係者に寄り添った対策の実施に万全を尽くしていること...

めんの大きな力になります。整備長期計画のもとで、輸出も視野に入れた漁港の高度衛生管理対策や養殖拠点の整備等による水産業の成長産業化、環境の変化に対応しつつ、ブルーカーボンとしても注目されている藻場・干潟をはじめとする漁場整備による生産力の回復、漁村で安心し暮らすための時代に必要なデジタル技術の水産業への活用や漁港漁村におけるカーボンニュートラルへの対応を進めることが必要です。

また、先の国会における漁港漁場整備法の改正により、法律の目的として、これまでの「整備」と「維持管理」に「活用促進」が加えられたことにより、漁港を活用して、地域の魅力ある資源を使った「海業」を展開する環境が整備されました。今後は私たちが各地域で海業について議論・検討し、地域に収入と雇用の場を作るために努力することが求められていると考えます。

本日は、お集りの皆様、事例の発表をお聞きいただき、来年度予算に向けての必要な施策について議論していただいたうえで、提言を取りまとめ、決議した事項の実現を広く政府、国会に要請することとしております。

水産業が成長産業として発展し、活気ある豊かな漁村が実現することを目指して、一層の団結のもと活動を続けることをお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

祝辞 衆議院農林水産委員長 笹川 博義



本日に、「第七十二回全国漁港漁場大会」が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。まず、本日御列席の皆様をはじめ、日頃より漁港・漁場・漁村の整備の推進に格段の御尽力をいただいたり、おられますこと、心から感謝申し上げます。

一方、我が国の水産業・漁村は、減少傾向の不漁・漁村の人口減少など、厳しい状況が続いております。また、ロシアのウクライナ侵略などによって、食料安全保障への懸念が高まる中、水産物を含めた食料の安定供給を確保することがこれまで以上に重要な課題であると認識されており、ALPS処理水の海洋放出に際しては、国におおきな力を頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。

現在、これらに対応し、水産業の成長産業化を図るため、昨年三月に閣議決定された新たな水産基本計画に沿って、水産資源管理の着実な実施、若者に魅力ある水産物を供給する役割だけでなく、自然環境を保全する機能、国民の生命・財産を保全する機能、交流等の場を提供する機能、地域社会を形成し維持する機能等の多面的な機能も果たして、その恩恵は、漁業者や漁村の住民にとどまらず、広く国民一般にも及んでおります。

祝辞 参議院農林水産委員長 山下 雄平



第七十二回全国漁港漁場大会が開催されるに当たり、参議院農林水産委員会を代表して、一言ご挨拶申し上げます。本日に参集の皆様方におかれましては、水産業及び漁村の振興のため日頃よりご尽力を頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。

近年の水産業は、主要魚種の不漁・漁村の人口減少など、厳しい状況が続いております。また、ロシアのウクライナ侵略などによって、食料安全保障への懸念が高まる中、水産物を含めた食料の安定供給を確保することがこれまで以上に重要な課題であると認識されており、ALPS処理水の海洋放出に際しては、国におおきな力を頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。

このように、全国の漁港・漁場・漁村の関係者が一堂に会され、漁港機能の再編・強化と養殖拠点の形成による水産業の成長産業化等の推進に向けて決意を新たにされることは、まことに意義深いものがあります。私も衆議院農林水産委員長といたしましては、皆様のご提言を十分踏まえ、また、本年五月には、水産物の消費増進や交流促進に寄与する海業（うみぎょう）の取組を漁業利用との調和を図りつつ推進する制度の創設等を行う、漁港漁場整備法等の改正法が成立しました。今後、海業（うみぎょう）の推進や水産物の生産と流通の機能強化により、水産業の発展と漁業地域の活性化が期待される所存であります。

祝 辞
漁港漁場漁村整備促進議員連盟
会長 衛藤 征士郎



ご列席の皆様には、我が国水産業の振興と漁村の発展にご尽力頂いており衷心より敬意を表します。また、度重なる強大な台風や豪雨の来襲により、被害を受けた全国の

の多くの方々には心よりお見舞いを申し上げます。さて、我々は、漁港、漁場、漁村の整備を促進し、豊かな漁村社会の構築に寄与することを目的として議員連盟を立ち上げ、その趣旨に賛同する衆・参国會議員14名で活動をしております。新型コロナウイルス感染症はようやくクラスター

の課題を持っていきます。この様な状況の下、我が国水産業を維持し発展させるため、漁港の衛生管理対策の向上や流通の効率化により水産物の輸出を推進することや広域的な海洋環境の改善による水産資源の回復を図ることなどを急がねばなりません。併せて、国土強靱化の推進や漁港施設の長寿命化、漁村にきわめての創出など必要な諸施策についても総合的かつ迅速に取り組みをまいりたいと考えております。8月末に農林水産省から財務省へ令和6年度予算の概算要求書が提出さ

れました。水産基盤整備の予算の要求は873億円であり、今般の予算要求には、地域として緊急性の高い諸施策が盛り込まれており、3年度目を迎えた漁港漁場整備長期計画を着実に実行し、水産政策の改革を推進していく上で重要な意味を持ちますので、予算獲得に向け、議員連盟といたしまして最大限の努力をいたします。

丸となり消費拡大に努め、設した漁業者支援や風評被害対策における基金等を活用しながら、漁業者が安心して操業できるような環境づくりに努めて参る所存です。しかしながら、中国等の過剰な禁輸措置があり、一部の水産物に価格下落等の影響も出始めております。この状況がいつまで続くのか不透明な点もあり、多くの水産関係者が不安を抱えております。これに関しては、政府をはじめ、多くの関係者の方々から応援をいただいているところでございますが、特に国民・消費者の目線が日本の水産物に向けられており、これは消費拡大の好機でもあると考えております。この苦境を乗り越え、水産関係者が一

き全国の漁港・漁場・漁村関係者の力を結集して取り組まなければならない。Jグループといったし、連予算を含む水産関係予算について、六年連続で総額三千億円を超える規模の予算を要望しているところです。この予算の確保に向け邁進して参りますので、皆様方におかれましては、引き続き厚いご支援を賜りたいと存じます。

化)そして「海業の推進と漁村の持続的発展」を力強く推進頂き、私ども大日本水産会と手を携え、「国民に対する水産物の安定供給」、そして「水産業と漁村の持続的発展」のため、ひいては「水産日本復活」に向けて、ともに努力できればとお願いいたします。結びに、全国の漁港・漁場関係の皆様、またご列席の皆様のご発展を心より祈念し、全国大会に当たっては、お祝いのご挨拶とさせていただきます。本日は、まことにめでたくござい

祝 辞
全国漁業協同組合連合会
代表理事会長 坂本 雅信



まず、本年もご東京で多数の漁港・漁場関係者の皆様方を参集し、盛大に開催されますことを、深くお祝い申し上げます。

さて、ロシア・ウクライナ問題や止まらない円安など、社会情勢は引き続き不安定であり、漁業においても燃料・資材価格の高騰や海洋環境の

変化に伴う不漁、頻発する自然災害など、厳しい状況が続いております。そして、我々にとって重要な問題であります。A L P S処理水の海洋放出については、八月二十一日に、本会副会長および被災地域の会長方とも官邸に出向き、岸田総理大臣と面談を致しました。我々からは、漁業者・国民の理解を得られない海洋放出はいささか反対であること、また、

科学的な安全性への理解は深まっておらず、科学的な安全と社会的な安心は異なるものであり、風評被害への懸念があることなどを申し伝えました。そして、漁業者に寄り添い、今後数十年の長期にわたるご国との全責任において必要な対策を講じ続けることを政府に求めました。

我々の要望を受け、岸田総理からは「A L P S処理水の影響に係る必要な予算措置等について、水産予算とは別建てで、政府全体として責任をもつて対応する」との発言がありました。

ご承知のとおり、八月二十四日に海洋放出が開始され、我々には引き続き状況を注視してまいります。政府が創

設した漁業者支援や風評被害対策における基金等を活用しながら、漁業者が安心して操業できるような環境づくりに努めて参る所存です。しかしながら、中国等の過剰な禁輸措置があり、一部の水産物に価格下落等の影響も出始めております。この状況がいつまで続くのか不透明な点もあり、多くの水産関係者が不安を抱えております。これに関しては、政府をはじめ、多くの関係者の方々から応援をいただいているところでござ

います。併せて、国土強靱化の推進や漁港施設の長寿命化、漁村にきわめての創出など必要な諸施策についても総合的かつ迅速に取り組みをまいりたいと考えております。8月末に農林水産省から財務省へ令和6年度予算の概算要求書が提出さ

れました。水産基盤整備の予算の要求は873億円であり、今般の予算要求には、地域として緊急性の高い諸施策が盛り込まれており、3年度目を迎えた漁港漁場整備長期計画を着実に実行し、水産政策の改革を推進していく上で重要な意味を持ちますので、予算獲得に向け、議員連盟といたしまして最大限の努力をいたします。

丸となり消費拡大に努め、設した漁業者支援や風評被害対策における基金等を活用しながら、漁業者が安心して操業できるような環境づくりに努めて参る所存です。しかしながら、中国等の過剰な禁輸措置があり、一部の水産物に価格下落等の影響も出始めております。この状況がいつまで続くのか不透明な点もあり、多くの水産関係者が不安を抱えております。これに関しては、政府をはじめ、多くの関係者の方々から応援をいただいているところでござ

祝 辞
一般社団法人
会長 枝元 真徹



「第12回全国漁港漁場大会」が、宮下 一郎農林水産大臣、衛藤征士郎漁港漁場整備促進議員連盟会長をはじめ多くのご来賓の皆様を迎え、全国より多数の関係の皆さんが集われて、盛

大に開催されますこと、心よりお慶びを申し上げます。昨今、地球環境・海洋環境の変化が進む中、依然主要魚種の不漁は続き、新型コロナウイルス禍後も続く需要の減退やウクライナ侵攻による市場の不安定やエネルギー・資材等のコスト高、更にA L P S処理水を理由とする中国等の日本水産物の輸入制限等、業界を取り巻く状況は益々難しくなっており、

「漁港等の強靱化、長寿命化」を推進し、漁村の持続的発展を力強く推進頂き、私ども大日本水産会と手を携え、「国民に対する水産物の安定供給」、そして「水産業と漁村の持続的発展」のため、ひいては「水産日本復活」に向けて、ともに努力できればとお願いいたします。結びに、全国の漁港・漁場関係の皆様、またご列席の皆様のご発展を心より祈念し、全国大会に当たっては、お祝いのご挨拶とさせていただきます。本日は、まことにめでたくござい

ます。さて、我々は、漁港、漁場、漁村の整備を促進し、豊かな漁村社会の構築に寄与することを目的として議員連盟を立ち上げ、その趣旨に賛同する衆・参国會議員14名で活動をしております。新型コロナウイルス感染症はようやくクラスター

の課題を持っていきます。この様な状況の下、我が国水産業を維持し発展させるため、漁港の衛生管理対策の向上や流通の効率化により水産物の輸出を推進することや広域的な海洋環境の改善による水産資源の回復を図ることなどを急がねばなりません。併せて、国土強靱化の推進や漁港施設の長寿命化、漁村にきわめての創出など必要な諸施策についても総合的かつ迅速に取り組みをまいりたいと考えております。8月末に農林水産省から財務省へ令和6年度予算の概算要求書が提出さ

議長選出



議長に選出された川添健鹿児島県漁港漁場協会会長



提言朗読

提言を朗読する畠田ユズミ全国漁協女性部連絡協議会会長愛媛県漁協女性部連合会会長

提案理由説明



提案理由を説明する大山茂樹香川県漁港協会会長

はじめに、ご紹介を頂きまして、香川県漁港協会会長を務めております。さぬき市長の大山茂樹でございます。

はじめに、今年の台風や大雨などの風水害によって犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されました多くの皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。

また、本日ご出席のご来賓の方々をはじめ、ご参集の皆様におかれましては、常日頃から水産業の振興と活力ある漁村づくりにご尽力頂いている事に、心より敬意と感謝の意を表する次第であります。

本大会での提案理由の説明に先立ち、香川県とさぬき市の現状に若干触れたいと存じます。

香川県は瀬戸内海の東部に位置し、東に播磨灘、中央に備前瀬戸、西に備後瀬戸とそれぞれ特徴のある海域に接しています。

総海域面積は瀬戸内海全体の約1割を占め、小豆島や塩飽諸島など多くの島と総延長約737kmに及ぶ複雑な海岸線を有しています。

播磨灘及び備後瀬戸は水深20m

40mの平坦な砂泥底で潮流も比較的緩やかです。

一方、多くの島々が点在する備前瀬戸は潮流が速く、複雑な海底地形が形成されています。

これらの海域特性を活かし、小型機船底びき

網漁業やサワラ、マナカツオなどを対象とした流ししし網漁業が県下全域で操業される

とともに、備後瀬戸は潮流が速く、複雑な海底地形が形成されています。

また、養殖漁業ではブリ類・マダイなど魚類養殖業、ノリ・ワカメなど藻類養殖業、マガキ・アカガイなど貝類養殖業が営まれています。

特に、昭和3年に、野網和三郎氏が現在の東かがわ市引田の安戸池において、世界で初めてハマチ養殖に成功し、全国の魚類養殖の礎となりました。

このような漁業者の創意と工夫の積み重ねが今日の本県の水産業と漁業地域の姿を形成しています。

本県の水産業は、海面漁業・養殖業を中心に、内水面漁業・養殖業及び水産加工業からなり、水産物の安定供給をはじめとして、自然環境の保全、交流・教育の場の提供などの多面的な機能を有し、地域社会の中で重要な役割を担っています。

しかしながら、海環境の変化等による漁獲量の減少、水産物の消費の低迷、燃油や餌料価格の高騰等による経営の悪化、漁業者の高齢化や後継者不足等によって、漁業地域の活力低下が懸念される状況にあります。

このような香川県及びさぬき市の状況を踏まえ、まして、付議議案「令和6年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」について、提案理由を説明いたします。

我が国の水産業、漁村は、国民に安全で良質な水産物を安定的に供給する役割に加え、健康的で豊かな日本の食文化を支え、地域経済の発展にも寄与してきました。

他方、水産消費の減少、環境の変化、水産物の減産、巨大地震・津波の切迫や台風等の激甚化に伴う漁獲の低迷、漁村の人口減少・高齢化など厳しい状況にある上、エネルギー、餌料の価格高騰などへの対応も迫られています。

このような中、我が国の水産物に対する国民の信頼に応えるとともに、水産物の輸出拡大を図っていくためには、沿岸環境の保全・再生や漁場整備などの資源回復対策と漁港の流通機能、衛生管理機能の高度化対策が急務となっております。

また、近い将来南海トラフ地震を始めとした大規模な地震・津波の発生が懸念されており、地球温暖化等により、これまで経験したことのない台風、集中豪雨等が多発するなど、自然災害が激甚化しております。

漁村地域の防災・減災対策を早急に進めるとともに、老朽化した施設の長寿命化を急

がなければなりません。我々も、水産業の成長産業化に必要な漁港整備の推進、防災・減災対策や長寿命化対策、いわゆる「海業」の推進による漁村の活性化などに意欲的な取り組みを参りまして、こうした取り組みを更に展開してゆかためには、国全体の力強い支援が必要不可欠であります。

このため、令和6年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算を確保し、

一、漁港機能の再編・強化と養殖地帯の形成による水産業の成長産業化

一、海洋環境の変化に対応した漁場整備による生産力の回復

一、漁港・漁村・海岸の強靱化による安全・安心の確保と長寿命化対策の推進

一、地域資源と漁港を活用した「海業」の振興による漁村の持続的な発展を強く求めるものであります。

国、地方とも厳しい財政状況のなか、地方や水産業への社会資本投資につきましても、誠に厳しいものがあると思いますが、水産業を魅力ある産業として次世代に継承し、豊かに安心して暮らせる漁村地域を形成して、水産業や漁村地域が日本の社会経済において果たしている重要な役割を引き続き果たせるようとするための喫緊の課題として、ここに強く要望し、提案するものであります。

皆様の満足の御賛同を心からお願ひいたしまして、提案理由の説明を終わります。ありがとうございました。

当市沿岸域は、到達が県内でも比較的早く、大きい津波高が予想されているにも関わらず、その対策が大変遅れており、早急な対策が求められています。

このような香川県及びさぬき市の状況を踏まえ、まして、付議議案「令和6年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」について、提案理由を説明いたします。

我が国の水産業、漁村は、国民に安全で良質な水産物を安定的に供給する役割に加え、健康的で豊かな日本の食文化を支え、地域経済の発展にも寄与してきました。

他方、水産消費の減少、環境の変化、水産物の減産、巨大地震・津波の切迫や台風等の激甚化に伴う漁獲の低迷、漁村の人口減少・高齢化など厳しい状況にある上、エネルギー、餌料の価格高騰などへの対応も迫られています。

このような中、我が国の水産物に対する国民の信頼に応えるとともに、水産物の輸出拡大を図っていくためには、沿岸環境の保全・再生や漁場整備などの資源回復対策と漁港の流通機能、衛生管理機能の高度化対策が急務となっております。

また、近い将来南海トラフ地震を始めとした大規模な地震・津波の発生が懸念されており、地球温暖化等により、これまで経験したことのない台風、集中豪雨等が多発するなど、自然災害が激甚化しております。

漁村地域の防災・減災対策を早急に進めるとともに、老朽化した施設の長寿命化を急

がなければなりません。我々も、水産業の成長産業化に必要な漁港整備の推進、防災・減災対策や長寿命化対策、いわゆる「海業」の推進による漁村の活性化などに意欲的な取り組みを参りまして、こうした取り組みを更に展開してゆかためには、国全体の力強い支援が必要不可欠であります。

このため、令和6年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算を確保し、

一、漁港機能の再編・強化と養殖地帯の形成による水産業の成長産業化

一、海洋環境の変化に対応した漁場整備による生産力の回復

一、漁港・漁村・海岸の強靱化による安全・安心の確保と長寿命化対策の推進

一、地域資源と漁港を活用した「海業」の振興による漁村の持続的な発展を強く求めるものであります。

国、地方とも厳しい財政状況のなか、地方や水産業への社会資本投資につきましても、誠に厳しいものがあると思いますが、水産業を魅力ある産業として次世代に継承し、豊かに安心して暮らせる漁村地域を形成して、水産業や漁村地域が日本の社会経済において果たしている重要な役割を引き続き果たせるようとするための喫緊の課題として、ここに強く要望し、提案するものであります。

皆様の満足の御賛同を心からお願ひいたしまして、提案理由の説明を終わります。ありがとうございました。

ありがとうございました。

夢と活力のある漁港漁村を次世代へつなぐ

意欲的な取り組みの現地報告

第72回全国漁港漁場大会では、付議議案「令和6年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」に関連し、意欲的な取り組みの現地報告として3件の事例発表が行われた。

事例報告

長崎県尾崎漁港

発表者
比田勝尚喜
対馬市長



「防波堤による港内静穏域確保とマグロ養殖の展開」

漁船海難遺児育英会が募金活動

募金活動の様子



全国漁港漁場大会では、「漁船海難遺児育英会」の募金活動が恒例となっている。

今大会においても（公財）漁船海難遺児育英会が大会会場において募金活動を行った。多くの大会参加者が募金活動に賛同し、「水色の羽」を胸に付け大会に臨んでいた。

事例報告

島根県浜田漁港

発表者
久保田章市
浜田市長



「浜田漁港における『海業』の取組み～水産物ブランド化と魚食普及活動～」

事例報告

福井県高浜町

発表者
野瀬豊
高浜町長
中村広花
産業振興課主事



「地域資源を活用した海辺のまちづくり～海業～」

企業等展示

- (一財) 漁港漁場漁村総合研究所
- (一社) 水産土木建設技術センター
- (一社) 全日本漁港建設協会
- (一社) 漁港漁場新技術研究会

異形ブロック専門部会/施工専門部会 (漁港漁場新技術研究会)

- 日本海上工務株式会社
- 日之出水道機器株式会社
- 日本防蝕工業株式会社
- 株式会社ナカポーテック
- 海洋建設株式会社
- 株式会社チスイ
- 株式会社ゼニライトブイ
- 日清紡ホールディングス株式会社
- 日本無線株式会社
- 株式会社エーピーシー商会
- アトムクス株式会社
- 五洋建設株式会社
- 東洋建設株式会社
- 株式会社不動テトラ
- 株式会社三柱

- 漁港プレキャスト工法研究会
- 環境維持保全工法研究会
- 株式会社アルファ水工コンサルタンツ

- 株式会社安部日鋼工業
- 国際気象海洋株式会社
- 株式会社アクアテック

(公社) 全国漁港漁場協会

第72回全国漁港漁場大会来賓一覧

(順不同、敬称略)

出席された国会議員

衆議院議員	
氏名	会派
赤澤 亮正	(自由民主党)
岩田 和親	(自由民主党)
江渡 聡徳	(自由民主党)
小里 泰弘	(自由民主党)
加藤 竜祥	(自由民主党)
金子 恭之	(自由民主党)
亀岡 偉民	(自由民主党)
神田 憲次	(自由民主党)
鈴木 英敬	(自由民主党)
高見 康裕	(自由民主党)
武部 新	(自由民主党)
谷 公一	(自由民主党)
津島 淳	(自由民主党)
中村 裕之	(自由民主党)
西田 昭二	(自由民主党)
長谷川 淳二	(自由民主党)
藤井 比早之	(自由民主党)
堀井 学	(自由民主党)
牧島 かれん	(自由民主党)
宮澤 博行	(自由民主党)
森 英介	(自由民主党)
吉田 真次	(自由民主党)
小山 展弘	(立憲民主党)
池畑 浩太郎	(日本維新の会)

参議院議員	
氏名	会派
石井 正弘	(自由民主党)
井上 義行	(自由民主党)
猪口 邦子	(自由民主党)
江島 潔	(自由民主党)
加藤 明良	(自由民主党)
北村 経夫	(自由民主党)
上月 良祐	(自由民主党)
進藤 金日子	(自由民主党)
長峯 誠	(自由民主党)
藤川 政人	(自由民主党)
松下 新平	(自由民主党)
宮崎 雅夫	(自由民主党)
山本 佐知子	(自由民主党)
若林 洋平	(自由民主党)
よこやま 信一	(公明党)
紙 智子	(日本共産党)

第72回全国漁港漁場大会で漁港視察を実施

第72回全国漁港漁場大会を挟み、10月16日、17日、19日の3日間に茨城県千葉市、神奈川県神奈川県の漁港視察を実施した。視察には全国か



銚子市漁協で坂本雅信組合長が挨拶する様子



電子入札システムのデモンストレーションを見学する一行

ら大会に参加した協会のうち15協会、延べ約350名が参加した。視察は次の6カ所で開催され

◇茨城県
 ◇大津漁港(3種) 北茨城市に位置する大津漁港はまき網漁業基地として完成した総延長約1・3kmの防波堤、衛生管理型荷さばき所、市漁業歴史資料館「よきそら」を視察し、漁協直営の「市場食堂」で食事を行った。(2協会52名が参加)

◇千葉県
 ◇銚子漁港(特3) 銚子市にあり、水揚量日本一なかに位置する船曳網などの沿岸漁業の基地。小規模な閉鎖型の衛生管理型荷さばき所(375平米)などを視察した。(1協会4名が参加)

◇神奈川県
 ◇小田原漁港(3種) 小田原市早川にある漁港施設や整備計画の概要説明を受けた。(5協会129人が参加)



漁港の駅「TOTOCO小田原」

を誇る。第一卸売市場施設を視察した後、漁港の概要や電子入札システムについて話を聞いた。第二卸売市場(新市場)では、電子入札システムの使い方について職員から実際にスマホを使った説明を受けた。(3協会9人が参加)

◇神奈川県
 ◇三崎漁港(特3) 三浦市にある三崎漁港で施設や整備計画の概要を受けたほか、神奈川県水産技術センター、三崎フィッシュリーナウらり、三浦市三崎水産物地方卸売市場を視察した。(7協会232人が参加)

◇神奈川県
 ◇三浦市 三浦市にある三崎漁港で施設や整備計画の概要を受けたほか、神奈川県水産技術センター、三崎フィッシュリーナウらり、三浦市三崎水産物地方卸売市場を視察した。(7協会232人が参加)

代理の方が出席された国会議員

衆議院議員	
氏名	会派
麻生 太郎	(自由民主党)
石破 茂	(自由民主党)
井林 辰憲	(自由民主党)
井原 巧	(自由民主党)
岩屋 毅	(自由民主党)
尾崎 正直	(自由民主党)
梶山 弘志	(自由民主党)
加藤 鮎子	(自由民主党)
鈴木 俊一	(自由民主党)
高島 修一	(自由民主党)
中谷 元	(自由民主党)
西村 明宏	(自由民主党)
西村 康徳	(自由民主党)
西銘 恒三郎	(自由民主党)
細田 健一	(自由民主党)
細田 博之	(自由民主党)
松本 剛明	(自由民主党)
宮内 秀樹	(自由民主党)
保岡 宏武	(自由民主党)
山口 壯	(自由民主党)
鷲尾 英一郎	(自由民主党)
渡辺 孝一	(自由民主党)
田村 貴昭	(日本共産党)

参議院議員	
氏名	会派
青木 一彦	(自由民主党)
石井 準一	(自由民主党)
石井 浩郎	(自由民主党)
磯崎 仁彦	(自由民主党)
岩本 剛人	(自由民主党)
酒井 庸行	(自由民主党)
櫻井 充	(自由民主党)
白坂 亜紀	(自由民主党)
世耕 弘成	(自由民主党)
滝沢 求	(自由民主党)
滝波 宏文	(自由民主党)
中西 祐介	(自由民主党)
野村 哲郎	(自由民主党)
馬場 成志	(自由民主党)
藤井 一博	(自由民主党)
船橋 利実	(自由民主党)
舞立 昇治	(自由民主党)
松村 祥史	(自由民主党)
三浦 靖	(自由民主党)
山本 啓介	(自由民主党)
山本 順三	(自由民主党)

第72回全国漁港漁場大会に祝電・メッセージを下された方々

(順不同、敬称略)

自由民主党総裁 内閣総理大臣	岸田 文雄
衆議院議員	牧島 かれん
衆議院議員	山口 俊一
参議院議員	小林 一大
参議院議員	藤井 一博
参議院議員	山田 俊男
全国離島振興協議会 会長	野口 市太郎

2023 漁港漁場漁村海岸写真コンクール

入賞作品 決定!

(公社)全国漁港漁場協会と全国漁港海岸防災協会の共催(二財)漁港漁場漁村総合研究所と(二社)水産土木建設技術センターの協賛、水産庁後援による2023漁港漁場漁村海岸写真コンクールの入賞作品が、第72回全国漁港漁場大会の場で発表された。

同コンクールの作品審査は9月7日に行われ、入賞作品は、パンフレットにまとめられて大会参加者に配布された。

入賞作品は、特選1席(農林水産大臣賞)1点、特選2席(水産庁長官賞)1点、特選3席(全国漁港漁場協会長賞、全国漁港海岸防災協会長賞、漁港漁場漁村総合研究所理事長賞、水産土木建設技術センター理事長賞)各1点、入選5点、佳作10点で、入賞者は別表の通り。

なお、入賞作品は全国漁港漁場協会のホームページに掲載しています。

特選1席

農林水産大臣賞



特選2席

水産庁長官賞



特選3席

漁港漁場漁村総合研究所理事長賞



特選3席

全国漁港漁場協会長賞



特選3席

全国漁港海岸防災協会長賞



特選3席

水産土木建設技術センター理事長賞



2023 漁港漁場漁村海岸写真コンクール 入賞者一覧

入賞	題名	氏名
特選1席	農林水産大臣賞	「捕ったぞー」 川崎 信義
特選2席	水産庁長官賞	「漁港」 鈴木 雄太
特選3席	(公社)全国漁港漁場協会長賞	漁民のハレの日 浅山 昇
特選3席	全国漁港海岸防災協会長賞	地元の海を守りたい 井原 美貴子
特選3席	(財)漁港漁場漁村総合研究所理事長賞	今獲れたぞ 吉田 隆
特選3席	(一社)水産土木建設技術センター理事長賞	ヒジキ採り 井上 信
入選	瀬戸の花嫁	明野 敏行
入選	漁港の煮干し	カマタニ ヒサト
入選	ホタテの海	糸賀 一典
入選	わかめ干し	西山 昌敏
入選	海産神社	谷口 常雄
佳作	砂浜ポスト	山中 正光
佳作	春を待つ	田中 輝来
佳作	祭りは最高潮	伊藤 良一
佳作	朝の伊根漁港	白木 勇治
佳作	コブ漁多忙	青藤 芳正
佳作	この海と生きていく	黒須 俊夫
佳作	片瀬漁港の夕陽	松山 進
佳作	夕映えの気仙沼湾に浮かぶ牡蠣筏	佐藤 剛士
佳作	舟屋(ふなや)	三戸 梓子
佳作	生簀の曳航	岡本 聖

緊急特別決議を採択



臨時総会の様子

漁港漁場漁村整備議員連盟が臨時総会を開催

自民党の漁港漁場漁村連のメンバーと呼び掛け整備促進議員連盟(備藤 征十郎会長)は臨時総会を東京・永田町の党本部で17日(金)に開催し、「漁港・漁場・漁村の整備促進に関する緊急特別決議」を採択した。40名の国会議員が出席した。冒頭、備藤会長は「国の財政状況は厳しいが、全国各地の水産業・漁村を支えるために全力で予算の満額確保に向けて取り組みたい」と強調し、財務省に対する決議内容の中し入れへの参加を議

自民党の漁港漁場漁村連のメンバーと呼び掛け整備促進議員連盟(備藤 征十郎会長)は臨時総会を東京・永田町の党本部で17日(金)に開催し、「漁港・漁場・漁村の整備促進に関する緊急特別決議」を採択した。40名の国会議員が出席した。冒頭、備藤会長は「国の財政状況は厳しいが、全国各地の水産業・漁村を支えるために全力で予算の満額確保に向けて取り組みたい」と強調し、財務省に対する決議内容の中し入れへの参加を議

「漁港・漁場・漁村の整備促進に関する緊急特別決議」を採択した。40名の国会議員が出席した。冒頭、備藤会長は「国の財政状況は厳しいが、全国各地の水産業・漁村を支えるために全力で予算の満額確保に向けて取り組みたい」と強調し、財務省に対する決議内容の中し入れへの参加を議



挨拶する備藤会長

決意は地域からの要望が強い▽水産業の成長が期待された。決議では地域からの要望が強い▽水産業の成長が期待された。決議では地域からの要望が強い▽水産業の成長が期待された。決議では地域からの要望が強い▽水産業の成長が期待された。

「第1回海業推進全国協議会」12月開催

水産庁

水産庁は海業への理解の促進と取り組みの全国展開を推進するため、第1回海業推進全国協議会を12月13日(水)午後1時30分、午後5時、東京・霞が関の農林水産省で開催する。

人口減少や高齢化が進む漁村において、関係者が一体となって海と漁村に関する地域資源を活かした海業を推進し、地域活性化を図ることを目指している。

第3回理事会を開催

全国漁港漁場協会

（公社）全国漁港漁場協会は、10月18日午後11時30分から千代田区の東京国際フォーラムG40

第3回理事会を開催し、理事の選任や事務の進捗を確認した。また、報告事項として、令和5年度(平二期)職務執行状況についての報告が行われた。

農水省・財務省に要請

第72回全国漁港漁場大会の提言携え



農水省で森長官(右から3人目)に提言を手渡した一行

10月18日に都内で開催された第72回全国漁港漁場大会で「令和6年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算算の確保に関する提言」が採択された。

これを同大会の提言として全国漁港漁場協会会長、各都道府県漁港漁場協会会長、全国漁業協同組合連合会会長の連名で政府及び各都道府県の地元選出国会議員等に働きかけ、提言事項の実現を図ることを決議。今年度の幹事協会を中心に各都道府県庁へ要請を行う「合同要請」と、都道府県漁港漁場協会が地元選出国会議



財務省では漆畑主計官らに面会した

員に対し要請する「個別要請」を実施した。農林水産省へは10月18日に要請、森健水産庁長官、田中郁也漁港漁場整備部長ら水産庁幹部に面会。提言を手渡し、漁港・漁場・漁村や海岸整備の早急で着実な実施に向けて予算確保を求めた。財務省へは10月20日に漆畑有浩主計官らに面会し、提言の実現を訴えた。「合同要請の参加者は次

- 山形県漁港漁場協会 大堀 幹、同 員部室長書記
- 福島県水産部水産課課長 漆畑 有浩
- 茨城県水産部水産課課長 中村 良弘
- 栃木県水産部水産課課長 中村 良弘
- 群馬県水産部水産課課長 中村 良弘
- 埼玉県水産部水産課課長 中村 良弘
- 千葉県水産部水産課課長 中村 良弘
- 東京都水産部水産課課長 中村 良弘
- 神奈川県水産部水産課課長 中村 良弘
- 新潟県水産部水産課課長 中村 良弘
- 富山県水産部水産課課長 中村 良弘
- 石川県水産部水産課課長 中村 良弘
- 福井県水産部水産課課長 中村 良弘
- 山梨県水産部水産課課長 中村 良弘
- 長野県水産部水産課課長 中村 良弘
- 岐阜県水産部水産課課長 中村 良弘
- 静岡県水産部水産課課長 中村 良弘
- 愛知県水産部水産課課長 中村 良弘
- 岐阜県水産部水産課課長 中村 良弘
- 滋賀県水産部水産課課長 中村 良弘
- 京都府水産部水産課課長 中村 良弘
- 大阪府水産部水産課課長 中村 良弘
- 兵庫県水産部水産課課長 中村 良弘
- 奈良県水産部水産課課長 中村 良弘
- 和歌山県水産部水産課課長 中村 良弘
- 徳島県水産部水産課課長 中村 良弘
- 香川県水産部水産課課長 中村 良弘
- 高松市水産部水産課課長 中村 良弘
- 愛媛県水産部水産課課長 中村 良弘
- 高知県水産部水産課課長 中村 良弘
- 福岡県水産部水産課課長 中村 良弘
- 佐賀県水産部水産課課長 中村 良弘
- 長門県水産部水産課課長 中村 良弘
- 熊本県水産部水産課課長 中村 良弘
- 大分県水産部水産課課長 中村 良弘
- 宮崎県水産部水産課課長 中村 良弘
- 鹿児島県水産部水産課課長 中村 良弘
- 沖縄県水産部水産課課長 中村 良弘

「合同要請の参加者は次

山形県漁港漁場協会 大堀 幹、同 員部室長書記

福島県水産部水産課課長 漆畑 有浩

茨城県水産部水産課課長 中村 良弘

栃木県水産部水産課課長 中村 良弘

群馬県水産部水産課課長 中村 良弘

埼玉県水産部水産課課長 中村 良弘

千葉県水産部水産課課長 中村 良弘

東京都水産部水産課課長 中村 良弘

神奈川県水産部水産課課長 中村 良弘

新潟県水産部水産課課長 中村 良弘

富山県水産部水産課課長 中村 良弘

石川県水産部水産課課長 中村 良弘

福井県水産部水産課課長 中村 良弘

山梨県水産部水産課課長 中村 良弘

長野県水産部水産課課長 中村 良弘

岐阜県水産部水産課課長 中村 良弘

静岡県水産部水産課課長 中村 良弘

愛知県水産部水産課課長 中村 良弘

岐阜県水産部水産課課長 中村 良弘

滋賀県水産部水産課課長 中村 良弘

京都府水産部水産課課長 中村 良弘

大阪府水産部水産課課長 中村 良弘

兵庫県水産部水産課課長 中村 良弘

奈良県水産部水産課課長 中村 良弘

和歌山県水産部水産課課長 中村 良弘

徳島県水産部水産課課長 中村 良弘

香川県水産部水産課課長 中村 良弘

高松市水産部水産課課長 中村 良弘

愛媛県水産部水産課課長 中村 良弘

高知県水産部水産課課長 中村 良弘

福岡県水産部水産課課長 中村 良弘

佐賀県水産部水産課課長 中村 良弘

長門県水産部水産課課長 中村 良弘

熊本県水産部水産課課長 中村 良弘

大分県水産部水産課課長 中村 良弘

宮崎県水産部水産課課長 中村 良弘

鹿児島県水産部水産課課長 中村 良弘

沖縄県水産部水産課課長 中村 良弘

令和6年度 概算要求に向けて財務省要請を実施

北海道漁港漁場協会

北海道漁港漁場協会（会長・高橋昌幸神恵内村）は、10月19日に令和6年度概算要求に係る財務省への要請を行った。

財務省には、中村裕之衆議院議員同席のもと、漆畑有浩主計官、川原英典主査に対し、高橋会長から、道内の現状や高水温による魚種の変化や来遊不振対策として増養殖への転換、物価高騰による工事費の増加への対応、漁業の推進に向けた体制づくり等の要請内容



財務省の漆原主計官(上段、中央左)、森水産庁長官(下段右から3人目)に面会した

北海道漁港漁場協会（会長・高橋昌幸神恵内村）は、10月19日に令和6年度概算要求に係る財務省への要請を行った。また、出席した石山英一は、遊漁者のマクロ釣りの増加に対応した漁獲量の増加に、村瀬優副会長（松前町長）は、漁港内でのナ

マコ養殖の確保のため、中国の輸入規制の早期撤廃について、村瀬優副会長（松前町長）からは、赤潮により甚大な被害を受けたワニ等の回復には、物価高で前年と同じ予算では工事が進まない。赤潮についても3年間は影響が残っているとのことで、今年、来年は予算の確保をお願いしたいと発言があった。

この際、財務省の漆原主計官からは、予算については国全体の話なので、我々も動向を見ている。本日の要請については、水産庁と協議して進めたいと回答があった。財務省要請後、水産庁

トーク&トークin岩手を開催

都市漁村交流推進協議会

都市漁村交流推進協議会の運びとなった。冒頭では、オンラインにて藤本会長より開会挨拶があり、続いて水産庁



熱心に聴講する参加者

洋大学妻小波副学長が「漁業の意義と課題」について、漁業の定義や意義と漁業推進のための課題を中心に講演した。続いて、水産庁の河野課長補佐が「漁業の推進について」と題して、漁港漁場整備法及び水産業協同組合法の改正や、漁港施設の活用方法、漁業推進の支援事業について説明した。

その後、(一財)漁港漁場総合研究所岩川珠乃次氏が「漁業の取組事例の紹介」として、魚食レストフ、魚食体験、水産資源を活かしたまちづくりについて紹介した。最後に、漁業のモデル地区の一つに選定された岩手県大槌町産業振興課一次産業活性化班藤原

令和5年度水産功績者一覧表

氏名	主たる役職名	年齢	都道府県	業種
工藤 伍郎	十三漁業協同組合 元代表理事組合長	77	青森県	沿岸漁業関係
後藤 均	岩手県漁業協同組合連合会 専務理事	69	岩手県	沿岸漁業関係
山本 昭志	山形県漁業協同組合 代表理事組合長	75	山形県	沿岸漁業関係
一瀬 保夫	石川県定置漁業協会 会長理事	70	石川県	沿岸漁業関係
岡 修	大阪府漁業協同組合連合会 代表理事会長	73	大阪府	沿岸漁業関係
喜田 ヒサ子	全国漁協女性部連絡協議会 会長理事	74	愛媛県	沿岸漁業関係
宇野 田定信	北浦漁業協同組合 代表理事組合長	70	宮崎県	沿岸漁業関係
八木 田和浩	全国さんま棒受網漁業協同組合 代表理事組合長	62	北海道	沖合・遠洋漁業関係
高木 延保	茨城県沖底協会 会長	62	茨城県	沖合・遠洋漁業関係
本 多 実	(一社)海外まき網漁業協会 前専務理事	74	埼玉県	沖合・遠洋漁業関係
野村 一郎	国際連合食料農業機関 (FAO) 元水産局長	75	神奈川県	沖合・遠洋漁業関係
山田 昌宏	焼津まぐろ漁業協 代表取締役社長	69	静岡県	沖合・遠洋漁業関係
丸谷 公夫	(社)全国沖合いか釣り漁業協会 元理事	68	福岡県	沖合・遠洋漁業関係
近藤 直美	大栄水産 取締役会長	75	長崎県	沖合・遠洋漁業関係
上竹 秀人	神崎水産 代表取締役社長	66	鹿児島県	沖合・遠洋漁業関係
大崎 正明	(一財)海苔増殖振興会 評議員	75	愛知県	増養殖・内水面関係
山端 武彦	三重県内水面漁業協同組合連合会 代表理事会長	64	三重県	増養殖・内水面関係
津田 保之	日本水産缶詰輸出水産業組合 理事	69	岩手県	流通・加工・冷凍関係
坪川 篤	新潟冷蔵 代表取締役会長	67	新潟県	流通・加工・冷凍関係
高岡 正則	新潟高麗 前代表取締役社長	85	長野県	流通・加工・冷凍関係
中山 嘉昭	全国水産加工業協同組合連合会 前代表理事会長	81	静岡県	流通・加工・冷凍関係
人羅 賢司	(一社)日本かまぼこ協会 理事	73	京都府	流通・加工・冷凍関係
井上 裕文	井上製氷冷蔵 代表取締役社長	76	福岡県	流通・加工・冷凍関係
前川 健吾	岩手県漁業共済組合 組合長理事	76	岩手県	金融・保険・共済関係
嶋田 栄人	日本漁船保険組合 副会長理事	70	和歌山県	金融・保険・共済関係
土居 正典	インテグムコンサルティング 取締役会長	66	埼玉県	研究開発関係
原 武史	水産庁 中央水産研究所 元所長	87	東京都	研究開発関係
今井 利為	(公財)神奈川県栽培漁業協会 専務理事	75	神奈川県	研究開発関係
竹内 俊郎	東京海洋大学 前学長	74	神奈川県	研究開発関係
岡崎 美子	東京海洋大学 元教授	69	神奈川県	研究開発関係
鈴木 治郎	遠洋水産研究所 水産資源部 元水産資源部長	77	静岡県	研究開発関係
橋本 牧	(公社)全国漁港漁場協会 前会長	68	東京都	漁港漁場関係
岩田 祐二	共和水産 代表取締役社長執行役員	68	千葉県	水産全般
所 英樹	共同船舶 代表取締役社長	69	東京都	水産全般
桑 知文	(公財)海外漁業協力財団 元専務理事	享年71	東京都	特別表彰

沿岸漁業関係7名 沖合・遠洋漁業関係8名 増養殖・内水面関係2名 流通・加工・冷凍関係6名
金融・保険・共済関係2名 研究開発関係6名 漁港漁場関係1名 水産全般2名 特別表彰1名 合計35名
※年齢は令和5年10月31日現在とする。



北海道選出の高橋はるみ参議院議員(中央右)に要請した

海産局の橋本幸北海道局長、坂崎武彦審議官、遠藤知庸農林水産課長のほか、道選出国会議員に対し財務省要請の結果報告と水産基盤整備予算の確保について要請を行った。

日本水産 水産功績者に橋本牧前会長ら

大日本水産会は明治23年(1890)年以來、水産業の振興と発展に功績のあった人を水産功績者として表彰している。昨年まで533名が表彰された。本年度においては、関係中央団体団長に水産功績者の同会水産功績者表彰の推薦を依頼し、推薦された候補者主体に、令和5年10月18日開催の同会水産功績者表彰委員会において慎重に選考した結果、35名を表彰することを決定した。そのうち漁港漁場関係では、(公社)全国漁港漁場協会の前会長である橋本牧氏が選ばれた。

- ・海洋環境の変化に適合した漁場整備による水産資源の回復
- ・養殖業の推進による水産資源の回復
- ・漁港・漁村の機能強化と圏域内漁港の衛生管理対策の推進
- ・持続可能な漁業生産体制の確保
- ・漁港や背後集落を守るための防波堤の嵩上げや海苔保全施設の充実等
- ・防災・減災対策の推進
- ・老朽化が進んでいる岸壁等の漁港施設の更新等
- ・長寿命化対策の推進
- ・漁村の活性化と漁港地水産業の強化に対する支援の一層の推進